

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第1区分
 【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2004-232638(P2004-232638A)
 【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)
 【年通号数】公開・登録公報2004-032
 【出願番号】特願2004-19219(P2004-19219)
 【国際特許分類】

F 0 2 C 7/00 (2006.01)

F 2 3 R 3/24 (2006.01)

【F I】

F 0 2 C 7/00 D

F 2 3 R 3/24

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月29日(2007.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

時間の経過と共に、連続して高温に曝されることにより、デフレクタプレートに酸化腐食又は熱疲労割れによる損傷が発生する。ドームプレートの効果的な遮蔽を可能にするために、損傷したデフレクタプレートは、交換を必要とする場合がある。少なくとも一部の公知の修理法には、従来通りドーム組立体を機械加工して、損傷したデフレクタプレートを除去することが含まれる。しかしながら、旋回チャンバの取付け機構と比較的近接した位置にあるため、旋回チャンバを損傷させることなく或いは該旋回チャンバを取り外すことなく、従来の機械加工法を実行することはできない。更に、機械加工が成功したとしても、多くの場合、残っている燃焼器ドーム組立体部品間の精密な寸法関係が変わる可能性があり、その結果、再組立の間に特別な治工具有必要になる可能性がある。従って、燃焼器ドーム組立体の一部を交換するのは、時間がかかり費用のかかる工程となる可能性がある。

【特許文献1】米国特許 4485630号明細書

【特許文献2】米国特許 4773227号明細書

【特許文献3】米国特許 4912922号明細書

【特許文献4】米国特許 5117637号明細書

【特許文献5】米国特許 5142871号明細書

【特許文献6】米国特許 5154060号明細書

【特許文献7】米国特許 5181379号明細書

【特許文献8】米国特許 5241827号明細書

【特許文献9】米国特許 5261223号明細書

【特許文献10】米国特許 5279127号明細書

【特許文献11】米国特許 5307637号明細書

【特許文献12】米国特許 5323604号明細書

【特許文献13】米国特許 5329761号明細書

【特許文献14】米国特許 5375420号明細書

【特許文献15】米国特許 5430935号明細書

【特許文献16】米国特許 5826431号明細書

- 【特許文献 1 7】米国特許 5839643号明細書
- 【特許文献 1 8】米国特許 6049978号明細書
- 【特許文献 1 9】米国特許 6079199号明細書
- 【特許文献 2 0】米国特許 6141862号明細書
- 【特許文献 2 1】米国特許 6163959号明細書
- 【特許文献 2 2】米国特許 6286317号明細書
- 【特許文献 2 3】米国特許 6345441号明細書
- 【特許文献 2 4】米国特許 6434821号明細書
- 【特許文献 2 5】米国特許 6442940号明細書
- 【特許文献 2 6】米国特許 6456732号明細書
- 【特許文献 2 7】米国特許 6474070号明細書